

2024年3月期 第3四半期決算概要

- 自動車用ガラス事業の改善が継続し、累計では引き続き増収増益
- 10-12月期の営業利益は、欧州における経済減速と異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受ける
- 通期業績予想は、売上高および営業利益については前回（第2四半期時点）の予想を維持
- 2023年12月よりマレーシアの設備にて太陽電池パネル用ガラスの生産を開始。
米国オハイオ州ロスフォードの新設備でも暦年2025年1~3月の出荷開始を予定
- 中期経営計画「リバイバル計画24（RP24）」に基づく「3つの改革」と「2つの重点施策」が順調に進捗、
RP24最終年として引き続き「財務基盤の回復」を推進。
自己資本比率は11%超を達成、フリー・キャッシュ・フローも通期で100億円以上のプラスを目指す

1. 2024年3月期 第3四半期決算

- 第3四半期累計の売上高は6,127億円（前年同期比+465億円、+8.2%）、営業利益は321億円（同+79億円、+32.9%）と、増収増益を継続。売上高および営業利益には、自動車用ガラス事業の大幅な改善とエネルギー価格下落が寄与。異例のアルゼンチン・ペソ切り下げによる営業利益への影響は約△40億円
- 第3四半期（10-12月期）の売上高は1,925億円（前年同期比+20億円、+1.0%）、営業利益は61億円（同△37億円）。売上高は増収だが、営業利益は欧州における経済活動の減速とアルゼンチン新大統領による異例の通貨切り下げの影響を受け減益
- 金利上昇に伴い金融費用が204億円に増加する一方、第1四半期におけるジョイント・ベンチャーの所有するロシア子会社の売却に伴い金融債権の減損損失の戻入益37億円と、持分法投資に関するその他の利益は10億円計上。純利益*は135億円となり、多額の減損損失により純損失を計上した前年同期比で大幅な黒字に転換（前年同期比+507億円、前年同期は372億円の損失）
- 自己資本比率は11.6%（前期末比+1.4pt）に回復。
フリー・キャッシュ・フローは、累計では124億円のマイナス（前年同期比+90億円）だが、10-12月期では62億円（前年同期比+181億円）となり、通期でプラス100億円以上を目指す

<損益計算書および財務指標>

(億円)	10-12月期（3か月）			累計（9か月）		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	1,906	1,925	20	5,662	6,127	465
営業利益	97	61	△ 37	242	321	79
営業利益率	5.1%	3.2%	△ 1.9pt	4.3%	5.2%	+0.9pt
個別開示項目（純額）	10	6	△ 4	△ 439	9	449
個別開示項目後営業利益（△損失）	107	67	△ 40	△ 198	330	528
金融費用（純額）	△ 48	△ 64	△ 16	△ 113	△ 204	△ 91
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	-	37	37
持分法による投資損益	21	15	△ 6	54	37	△ 17
持分法投資に関する その他の利益（△損失）	△ 4	△ 1	3	△ 11	10	21
税引前利益（△損失）	77	17	△ 60	△ 268	211	479
当期利益（△損失）	22	36	14	△ 348	141	489
純利益（△損失）*	17	37	21	△ 372	135	507
EBITDA	202	170	△ 31	544	650	107
フリー・キャッシュ・フロー	△ 119	62	181	△ 214	△ 124	90

*親会社の所有者に帰属する当期利益（△損失）

(億円)	2023年 3月末	2023年 12月末	増減
総資産	9,514	9,535	21
親会社の所有者に帰属する持分	970	1,109	139
自己資本比率	10.2%	11.6%	+1.4pt

<各事業の概況>

建築用ガラス事業	欧州の経済活動の減速と、アルゼンチン・ペソの異例な切り下げによる影響を受けたが、累計の売上高および営業利益は前年同期並みの水準を維持。太陽電池パネル用ガラスの需要も堅調継続、12月からマレーシアの新設備での生産開始
自動車用ガラス事業	増収増益を継続。自動車生産制約の緩和に伴い、販売数量が増加。原材料およびその他コスト上昇の影響を転嫁するための価格改善交渉も引き続き進展
高機能ガラス事業	IT市場減速、原燃材料およびその他コスト上昇、売上構成の悪化の影響を継続して受けるが10-12月期は前年同期比で増収増益

(億円)	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	10-12月期	累計	10-12月期	累計	10-12月期	累計
売上高						
建築用ガラス事業	936	2,757	816	2,745	△120	△12
自動車用ガラス事業	866	2,584	1,007	3,059	141	474
高機能ガラス事業	96	298	98	296	2	△1
その他	9	23	5	27	△4	4
売上高合計	1,906	5,662	1,925	6,127	20	465
営業利益						
建築用ガラス事業	107	262	44	262	△63	0
自動車用ガラス事業	6	△11	30	93	24	104
高機能ガラス事業	15	72	17	57	1	△15
その他	△31	△82	△30	△91	1	△9
営業利益合計	97	242	61	321	△37	79

2. 営業利益における為替影響

営業利益における為替影響



10-12月期の営業利益は為替の影響を受けて減少。

異例のアルゼンチン・ペソ切り下げに伴うものであり、現地通貨ベースでは強い需要により好調

累計(9か月) 営業利益

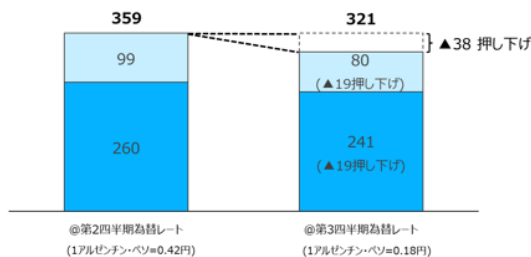
- ・期中平均レートを使用(アルゼンチン・ペソは期末レート)
- ・第3四半期累計の営業利益321億円を第2四半期為替レートで換算すると359億円
→為替影響により営業利益を約40億円押し下げ(黒点線)

10-12月期(3か月) 営業利益

- ・第3四半期累計と第2四半期累計との差額
- ・公表上: 61億円(赤点線)
- ・実際: 80億円(青点線)
第2四半期累計の営業利益260億円は、第3四半期には為替影響により241億円に減少

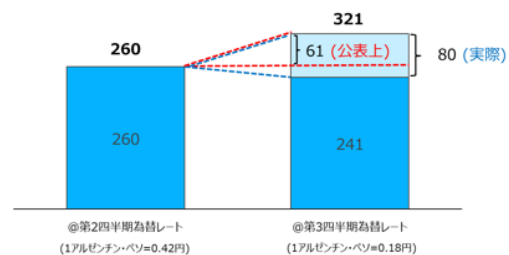
第3四半期累計営業利益の比較(億円)

■ 第2四半期累計(6か月) □ 第3四半期(3か月)



10-12月期営業利益の比較(億円)

■ 第2四半期累計(6か月) □ 第3四半期(3か月)



3. 2024年3月期 業績予想

- 異例のアルゼンチン・ペソ切り下げの影響を受けるも、売上高および営業利益は前回（第2四半期時）予想を維持。
着実な成長により引き続き2008年のリーマンショック以降の営業最高益を目指す
- エネルギー価格は安定推移を想定するものの、インフレ拡大等でのコスト増加は継続
- 景気後退などのリスクにより事業環境は依然不透明だが、全社的なコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善を継続

<業績予想>

(億円)	2024年3月期 通期予想 (前回)	2024年3月期 通期予想 (今回)	増減	2023年3月期 通期実績 (参考)
売上高	8,400	8,400	-	7,635
営業利益	420	420	-	348
個別開示項目（純額）	0	0	-	△ 452
個別開示項目後営業利益(△損失)	420	420	-	△ 103
金融費用（純額）	△ 290	△ 290	-	△ 174
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	40	40	-	-
持分法による投資利益	50	50	-	73
持分法投資に関する その他の利益（△損失）	10	10	-	△ 15
税引前利益（△損失）	230	230	-	△ 219
当期利益（△損失）	140	140	-	△ 310
純利益（△損失）*	120	130	10	△ 338

*親会社の所有者に帰属する当期利益（△損失）

4. リバイバル計画 24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗



持続的な成長が可能な事業体質を目指し主要施策を推進

3つの改革

● 事業構造改革

- ・ アルゼンチン2基目の新フロート窯が収益に貢献
- ・ マレーシアの既存フロート窯で、太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備が2023年12月より稼働開始
- ・ 米国オハイオ州ロスフォードの既存窯に太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備新設を発表。暦年2025年1~3月の出荷開始を予定



マレーシアの太陽電池
パネル用ガラス製造設備

2つの重点施策

● 財務基盤の回復

- ・ 営業利益率 : 原材料費高騰の下、コスト削減、高付加価値製品の拡大、販売価格上昇により5.2%
- ・ 純利益 : 増益が続く営業利益および第1四半期のジョイント・ベンチャー売却に伴う戻入益の計上もあり、累計で135億円
- ・ 自己資本比率 : 純利益計上もあり前期末から1.4pt改善し11.6%と目標数値である10%を上回る
- ・ FCF : 第3四半期はプラス。累計でも運転資本増加を除くとプラス。通期での目標数値である100億円以上達成を目指す

RP24 説明資料:

https://www.nsg.co.jp/-/media/nsg-jp/ir/ir-presentations/mtrprp24presentation2021_j01.pdf

<お問い合わせ> 広報部 Tel : 03-5443-0100